

KOBELSI **(神戸大学生命・自然科学ELSI研究プロジェクト)** **について**

茶谷 直人

(神戸大学大学院人文学研究科教授 KOBELSIリーダー)

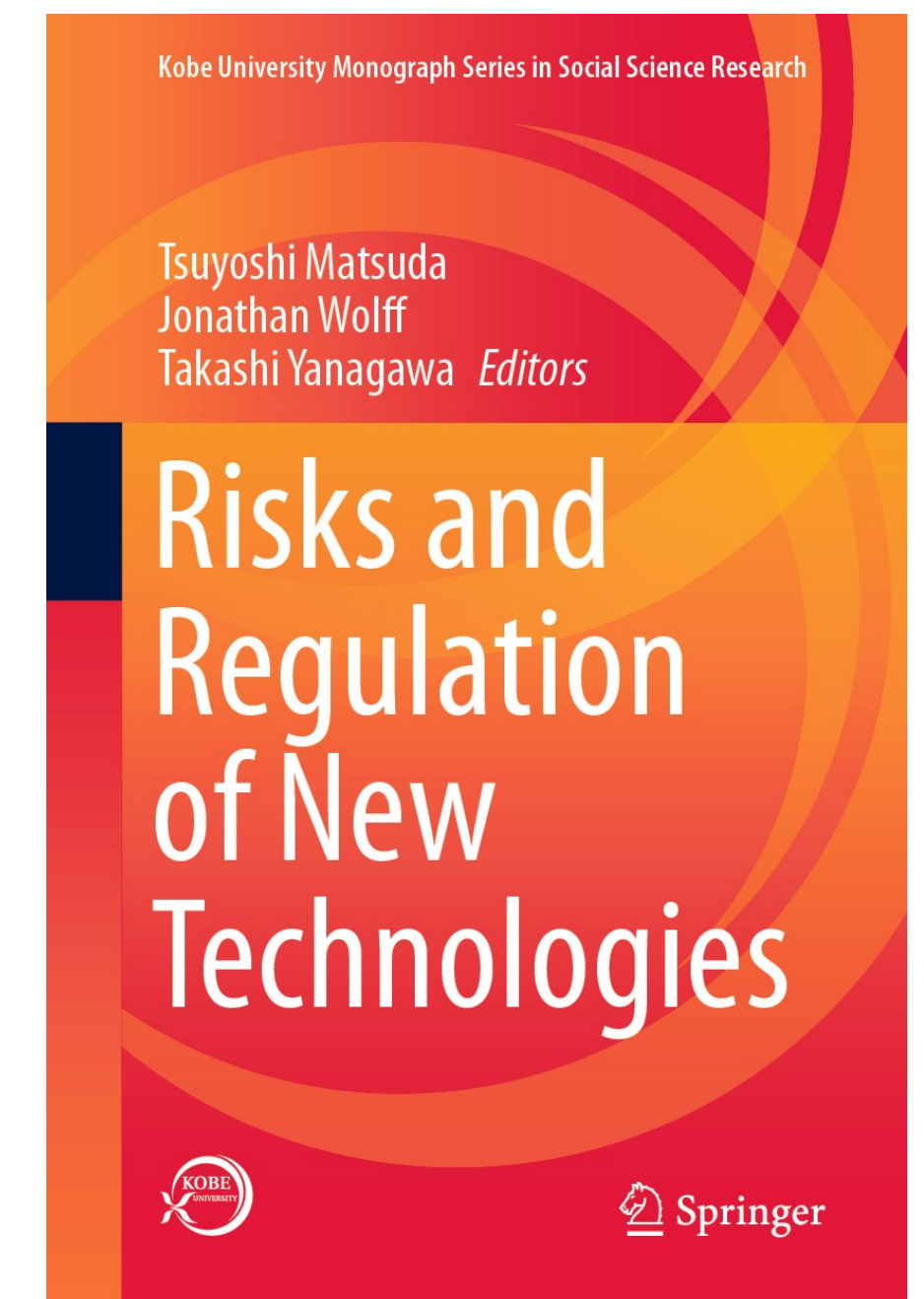
背景その1：KOBELSIの母体「倫理創成プロジェクト（Project Innovative Ethics）」

- 人文学研究科の研究教育センター。高度科学技術社会が求める新しい倫理規範の可能性を考察するため2007年発足。他部局・他分野との共同参画により現代社会の様々な問題を研究。

-アスベストの健康リスクをめぐる研究：アスベストによる中皮腫の被害について当事者への聞き取りも行いながら調査。問題の所在を漫画で描いた『石の綿』を刊行（2012）。東日本大震災後の瓦礫処理に伴う健康リスクについて現地調査を実施。

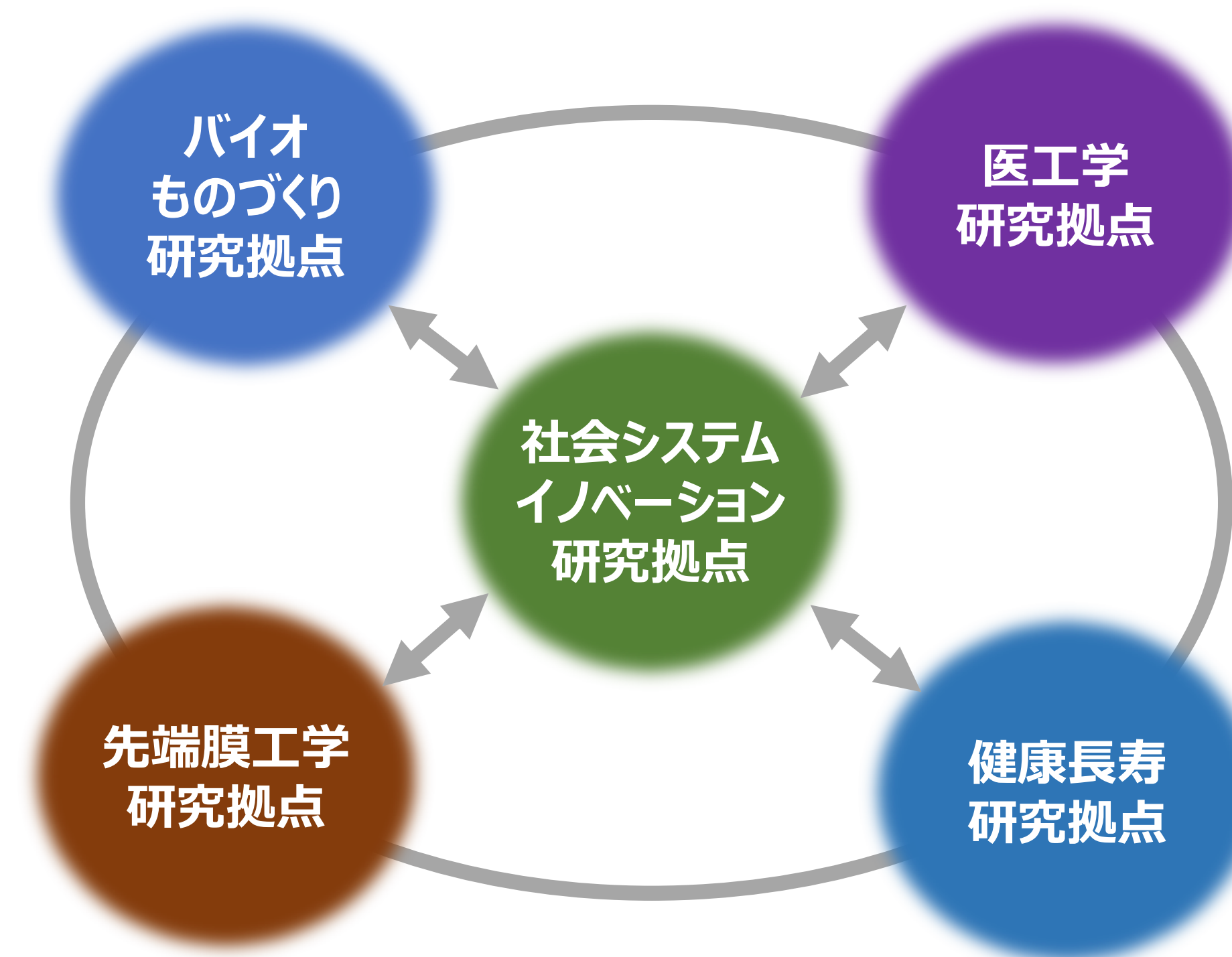
-本学先端融合環研究プロジェクト「メタ科学技術研究プロジェクト：方法・倫理・政策の総合的研究」（2016～2022年）：法学研究科・経済研究科などの教員と共同で、現代社会における科学的知識のあり方を学域横断的に研究。国際シンポジウムを含む60回以上にわたるワークショップを開催。英語論文集（Risks and Regulation of New Technologies, T. Matsuda, J. Wolff, and T. Yanagawa(eds), Springer, 2021）を刊行。

- 学術雑誌『21世紀倫理創成研究』を2008年より毎年刊行。



背景その2：神戸大学デジタル バイオ＆ライフサイエンスリ サーチパーク（DBLR）

- ・ 国立大学経営改革促進事業に採択（2022-24年度）。
- ・ 未来社会に向けた新たな課題の解決に資する経済的・社会的価値を創造するために、傑出した知と有能人材を創出するとともに、社会実装につなげる研究環境基盤を強化することを目指して開設。



**デジタルバイオ＆ライフサイエンスリサーチパーク
(DBLR)**

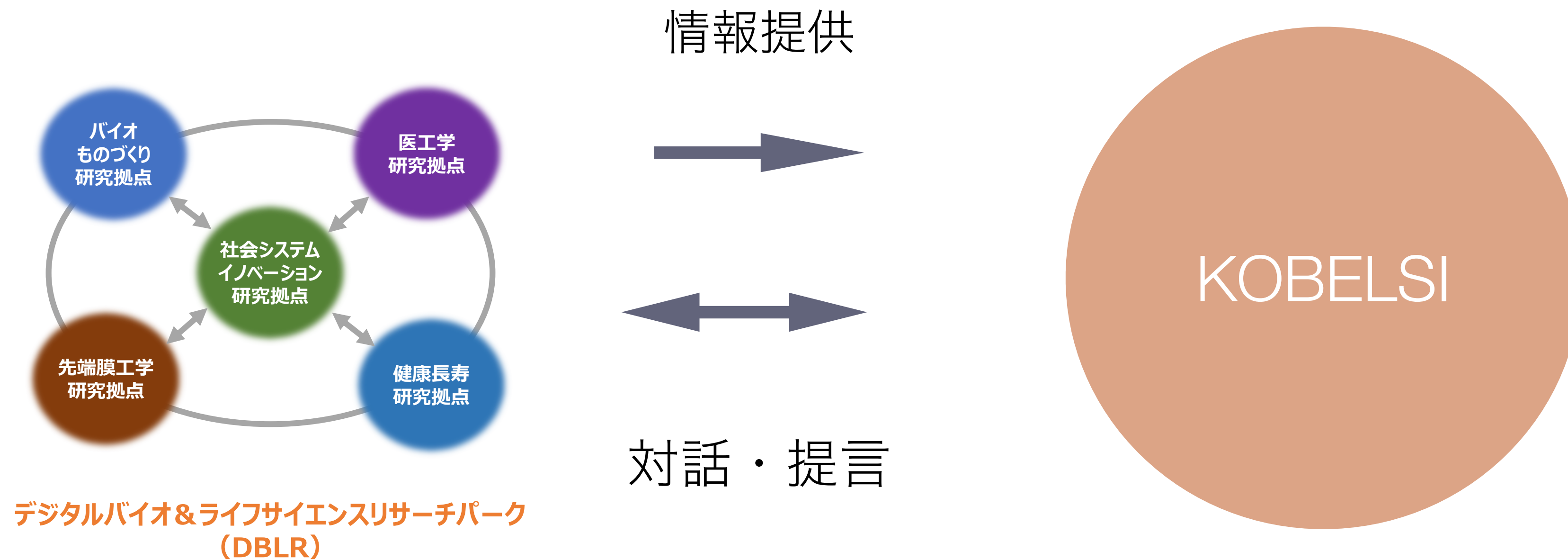
【KOBELSIの特色①】

さまざまな研究科・専門分野の研究者により構成された学域横断的な研究体制

＞人文学研究科・国際文化学研究科・法学研究科・経済学研究科・経営学研究科・人間発達環境学研究科・医学研究科・保健学研究科

【KOBELSIの特色②】

先端科学技術研究を展開する当事者（DBLR研究拠点）との連携・対話を通じた研究の遂行



【KOBELSIの特色③】

-ELSI研究における個別的論点の根底には「果たしてその科学技術はなぜそしてどのように人々の幸福・社会の福利に寄与するのか？」という基礎的問いが。ELSI研究はつきつめれば「人間の幸福・充実した生（エウダイモニア）とはなにか」「社会の福利とはなにか」という哲学的な問いに関与する。

-‘L’も‘S’も、‘E’の観点に何らかの仕方に関係している。

→人文学研究科の哲学・倫理学研究者（倫理創成プロジェクト）が組織の中核となり、多様な学問分野による学際的探究を統括

※エウダイモニア：「充実した生」「生きがいのある生」を意味する古代ギリシア語

現在および今後の具体的な調査研究テーマ・対象

- 現代社会における「同意」のあり方をめぐる研究
- パーソナルデータの収集・利用における適切なICについての研究（日立財団倉田奨励金に採択）
- バイオものづくり共創研究：地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)
- スマートグラスなどのウェアラブルデバイスの研究開発

KOBELSIウェブサイト：

<https://www.research.kobe-u.ac.jp/gsh-kobelsi/index.html>